

コード	202020105
記入日	H24.6.1

課コード	119
課名	建築課
課長名	法村 栄三
担当者	本田 雄喜治

事業評価表【事後評価】

作成年度	平成 24 年度
------	----------

評価対象事業名称	公営住宅長寿命化計画策定事業
----------	----------------

事業種類	単年度事業
事業期間	平成 23 年度 ~ 平成 23 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	2	政策名称	安全、便利、快適な生活環境づくり	款コード	8
施策コード	202	施策名称	ゆとりある住宅・住環境の整備	項コード	6
基本事業コード	20202	基本事業名称	住民ニーズに対応した公営住宅の充実	目コード	1
事務事業コード	2020201	事務事業名称	地域政策住宅管理事業費	細目コード	84
関連計画	公営住宅ストック活用計画		法令・条例規則等		

計画 (PLAN)

※単年度事業及び単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか	対象指標：対象の大きさを表す指標					
(対象1) 住民	(対象指標1) 22,720人口H23.4.1現在					
(対象2)	(対象指標2)					
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入	活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）					
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	<ul style="list-style-type: none"> 公営住宅のストック状況整理 公営住宅長寿命化計画の目的整理 長寿命化に関する基本方針設定 長寿命化を図るべき公営住宅の整理 公営住宅の建替事業の実施方針設定 長寿命化のための維持管理計画立案、維持管理による効果算出 報告書 3部 計画書 50部 	① ***** 報告書	3部	100%	完成報告書部数÷ 計画報告書部数	***** 平成23年度
		(達成率分析)	計画どおりに達成することができた。			
		② ***** 計画書	50部	100%	完成計画書部数÷ 計画計画書部数	***** 平成23年度
		(達成率分析)	計画どおりに達成することができた。			
目的：何をしたいのか	成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）					
		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
		① ***** 進捗率	4,200千円	100%	実施事業費÷全体事業 費	***** 平成23年度
		(達成率分析)	計画どおりに達成することができた。			
		②				
		(達成率分析)				

実施 (DO)

※単年度事業及び単年度繰返事業については、評価実績年度及び全体計画欄のみ記載する。

	単位	全体計画 H 23 ~ H 23		22年度以前	23年度	
		計画	実績	実績	計画	実績
活動指標	① 部	3	3		3	3
	② 部	50	50		50	50
成果指標	① %	100	100		100	100
	②					
総事業費 C (A+B)	千円	7,700	7,700		7,700	7,700
直接事業費 A	千円	4,200	4,200		4,200	4,200
人件費 B	千円	3,500	3,500		3,500	3,500
内訳	従事職員数	人	0.5		0.5	0.5
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000
財源	国補助金	千円	1,890		1,890	1,890
	県補助金	千円				
	起債	千円	2,300		2,300	2,300
	その他	千円				
内訳	一般財源	千円	3,510		3,510	3,510

評価 (CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

1 次 評 価	妥 当 性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズを考慮しても、事業を行う必要がありましたか。	● はい いいえ	理 由	老朽化した公営住宅について、効率的かつ円滑な更新を実現するため、確実な点検の実施及びその点検結果に基づく維持管理により公営住宅ストックの長寿命化を図ることは必要である。
	有 効 性	・事業の目的は達成されましたか。	● はい いいえ	理 由	計画どおりに達成することができた。
	効 率 性	・より少ない費用や業務量で事業や活動が効率的に実施できましたか。	● はい いいえ	理 由	策定事業費については、国の地域住宅交付金を活用し、最小の事業費と人件費で期待の成果を得ることができた。

改善 (ACTION)

1 次 評 価	○今後の関連事業に対する改善点（事業方法の検証・事業の成果等の検証を踏まえて、今後の関連事業等に対する改善点）	
	<p>長寿命化計画に基づく適宜な維持管理、修繕、建替えを行い、計画も5年毎の検証・見直しを行いながら、ストックする公営住宅の長寿命化を図る。</p>	
1 次 評 価	○目的が達成されていない場合の課題と改善策（目的が達成されていない場合、また、課題が継続している場合の改善策）	
	<p>目的は達成された。</p>	
2 次 評 価	<p>公営住宅の管理に資する事業であり、今後も長寿命化計画に基づきながら適正な維持管理、検証等を行い長寿命化に努めること。</p>	

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。